



## 生活保護受給者の年金請求申請について

養田 英雄 (蒼倫維新)



**問** 県内他市の年金調査業務による生活保護費の削減状況を考えて、本市においても年金請求漏れによる生活保護費の過払いが生じている可能性はあるのではないかと。

**答** 年金調査業務を実施している市に確認したところ、実際に年金の請求手続に至ったケースもある。本来、本人が年金の請求手続をするもので、本市においても、受給要件を満たすにもかかわらず受給できていない方がいる可能性はあると思われる。

**問** 生活保護受給者の方が増えていくと、当然ながら生活保護に起因する扶助費も増大していく。この増大する生活保護費を抑制するために、早急な年金調査支援業務の導入が必要だと思うが、見解を伺う。

**答** 公的年金の受給要件を満たす方については、年金の請求手続を行っていたことが必要だと考えている。本市での導入については、他の自治体へのヒアリングなどさらなる調査研究を進めていく。

## 学校再編で生じる備品の

## “行方”に光を当てよ

新 諒 平 (令和研究会)



**問** 再編に伴い発生する大量の備品について、管理・活用の体制は十分か？

**答** 教育委員会および市長部局で適切に管理しており、物品会計規則に則って処分・再利用・売却等の対応を行っている。

**問** 各学校にある備品は全市的に把握されているのか？

**答** 現状では紙の台帳で学校ごとに管理しており、全体の把握はできていない。

**問** 備品の廃棄・保存の判断基準は統一されているか？

**答** 使用不能の判断は校長の裁量で行っている。明文化された基準は存在しない。

**問** 廃校に残された楽器など、使用可能な備品はどう扱われているのか？

**答** 他校や公共施設に活用希望を確認し、残ったものは廃棄対象としている。現時点では譲渡や販売の仕組みは整っていない。

**問** 保管状態で劣化する物品は早期対応が必要では？

**答** 基本は廃棄の方針。適切な管理・処分を検討している。

## ハラスメント防止条例検討委員会

行田市議会では現在、行田市議会議員と議員又は議員と職員が互いに人格を尊重し、議会及び議員としての役割を十分に発揮するため、議員間又は議員による職員へのハラスメントの防止及びハラスメントに起因する問題が生じた場合の対応に關し必要な事項を定め、より一層市民から信頼される議会の実現に資することを目的とし、ハラスメント防止条例を制定するための検討委員会を設置し、条例案の検討を進めています。

ハラスメントを受けない、しない、抑止するために、各種研修の受講とあわせて、より実践的な条例となるよう、引き続き協議してまいります。

委員長	田 中 和 美
副委員長	野 本 翔 平
委員	小 林 淳 一
委員	村 田 清 治
委員	新 田 諒 平
委員	村 田 秀 夫
委員	岩 崎 彰
委員	福 島 ともお